

## りんご黄色品種の生産及び流通・販売の取組方針（改訂版）

りんご黄色品種の評価の向上を図っていくためには、「青森りんご」を生産及び流通・販売していることを意識し続けるとともに、適期収穫を始めとする適正な管理により品種固有の特性を引き出し、食味の優れた果実を生産する。あわせて、地域が明確な生産及び流通・販売戦略を立てブランド化を推進することが必要であることから、関係機関が一丸となって、以下の事項に取り組むこととする。

### 1. 生産面

- ①大玉・良品生産に向けたりんごの生育状況に応じた早期適正着果の推進
  - ・結実量や樹勢などに応じたきめ細かな摘果を早期に実施する。
  - ・労働力が少ない場合は、摘花剤や摘果剤（トキ、王林）の利用を推進する。
- ②食味向上を図るための適期・適正な夏季管理の励行
  - ・枝の間隔を適正に保持するため、誘引や枝吊り、支柱入れ等を実施する。
- ③「標準カラーチャート」の利用による「すぐりもぎ」など、適期収穫の徹底
  - ・収穫時期の目安を示したチラシ等の配布により、適期収穫の意識を高める。
  - ・地域ごとに果実の熟度を調査し、収穫適期の情報を提供することで早もぎを防止する。
  - ・「カラーチャートシール」等の比色作業サポートアイテムの活用や食味の確認などによる「すぐりもぎ」を推進する。
  - ・山選果作業時の「標準カラーチャート」利用や、目揃え会の実施により良品出荷を徹底する。

### 2. 流通・販売面

- ①良食味果実の厳選出荷による国内外の市場関係者や消費者の信頼確保
  - ・内部品質センサーを搭載した選果機を活用するなど、良食味果実を厳選出荷し、国内外の市場関係者や消費者の信頼確保に努める。
- ②品種間の計画的なりレー出荷や、下位等級品の加工仕向など積極的な需給調整の推進
  - ・品種ごとの販売時期・期間を設定し、円滑なりレー出荷・販売を推進する。
  - ・下位等級品の加工仕向への振り分け等によって、価格の高位安定化を推進する。
- ③多様な流通チャンネルの活用や全国「青森りんごの会」と連携した積極的なPR活動の展開による消費拡大
  - ・宅配や直売所など多様な流通チャンネルを活用した販売を推進するとともに、全国の「青森りんごの会」と連携した積極的なPR活動を展開する。
  - ・学校給食への導入など「地元」での消費拡大や、贈答用への利用拡大、さらには県民の「口こみ」などによるPR活動を推進する。